

学校運営協議会活動状況

1 第1回学校運営協議会（5／19）

○委員14名全員出席

○会議内容

- ・部長挨拶、委嘱状交付、学校長挨拶、自己紹介
- ・会長選出 関口 陸雄（久保台わくわく協議会長）氏に決定
- ・協議

学校の基本方針：校長が説明し承認を得る

情報交換：教師の困り感アンケート結果、地域でできる活動

今後の活動予定

授業参観、給食試食

生徒会本部の活動紹介

中根台中学校を知っていただく



教育部長より委嘱状が渡される



学校経営の説明



授業参観



生徒会による活動説明

2 NIE（新聞教育）実践指定校研修会（6／9）

現在指定を受けている学校に対し授業を公開し協議を行いました。本校学校運営協議会委員の皆様、本校の取組を実際に見ていただきたく参観いただきました。授業終了後には、ご感想をいただきました。



本校は、昨年度までの2年間、日本新聞教育研究会から「NIE 教育実践校」に指定されていました。公開授業や茨城新聞社の取材を受け、実践報告書（論文）は、茨城県教育広報・NIE コンクールで「茨城新聞社長賞」、学校通信は「茨城県新聞教育研究会長賞」を受賞しました。

3 ひなっこフェスティバル（地域主催の地域まつり）ボランティア参加に向けて（7／18）

駒馬台ひなっこ協議会の方が来校され、ひなっこフェスティバル（地域まつり）について、生徒会と打ち合わせを行いました。

このまつりでは、中学生コーナーをつくり遊びを提供するのですが、担当者が生徒の相談やアドバイスをしてくれました。



4 日本語の話せない外国人転入生の対応相談

日本語指導や日本での生活、相談について、生徒を支援していただける人を、委員の方に相談をしたところ、委員が引き受けてくれたり、知り合い等を通じてボランティアを探してくださったりするなど、援助ができるようになりました。現在、2名の方で日本語指導を行っています。



5 小中一貫教育合同研修会・教育講演会（8／21）

大昭ホール龍ヶ崎をお借りして、中根台中学校区の教員が集まり合同研修会を行いました。内容は、長野県の自問教育の会から3名の現職教員の方々をお招きして、「自問清掃・自問活動が未来を拓く」というテーマでご講演いただきました。

本校でも「黙働」として取り組んでいます、「心の成長」という点で大変参考になりました。また、この研修には、学校運営協議会の委員さんもお参加してくださいました。本学区で取り組んでいる黙働清掃に関連して、先進の学校の取組について、長野県から講師を招きご講話いただきました。

本学区、本校の教育を御理解いただくために、委員の皆様に声をかけご参加いただきました。



6 第2回学校運営協議会（8／27）

第2回学校運営協議会を開催しました。今回は「熟議」ということで、テーマを生徒の地域貢献活動について議論しました。この活動（熟議）は、学校と地域住民で「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。

今回、様々な課題やアイディアが出されましたので、参考にしながら学校と地域の協議会で共有し、進めていきたいと思っています。



会長挨拶



熟議



発表

7 ひなっこフェスティバル実行委員会参加（9／22）

本校生徒がひなっこフェスティバルにボランティアとして参加するため、生徒会長はじめ4名の生徒会本部役員がひなっこフェスティバル実行委員会の会議に参加しました。地域の方々の中に入り会議に参加し、当日の活動についての説明を受けてきました。

会議では、委員の方をはじめ、地域の方々が優しく接してくれました。



8 久保台わくわくまつり打ち合わせ（9／27）

久保台小学校わくわく協議会の方が来校され、本校生徒がボランティアとして運営に参画する「わくわくまつり、ハロウィンパーティー」の打ち合わせを、生徒会の生徒と行いました。

このボランティア活動は3年目になります。今年度からは、地域と共に生徒を育てるコミュニティスクール事業として行っていきます。地域の方々にも、生徒への支援にかかわっていただくことになりました。



9 夏龍祭（10／6）

「第31回夏龍祭」を行いました。生徒たちが自ら考え行動し、白熱した競技、熱い応援合戦などが繰り広げられました。「笑顔を胸に真剣勝負～今、この瞬間全力を注げ～」のスローガンのもと、生徒たちは競技、係活動に取り組んだ素晴らしい夏龍祭となりました。

学校運営協議会委員の皆様にもご参観いただき、ご感想やご意見をいただきました。



開会式



応援合戦



委員の皆様

10 生徒の地域貢献活動～地域まつりボランティア～（10／25）

本校学区の久保台地区と馴馬台地区で地域まつりが行われました。久保台地区の「久保台小学区わくわくまつり」では、地区が出店した縁日の運営の手伝いを行いました。馴馬台地区の「馴馬台ひなっこフェスティバル」では、吹奏楽部がオープニングセレモニーでの演奏で盛り上げ、中学生によるお楽しみコーナーでは、射的、スーパーボールすくい、型抜き、綿アメ、飲み物販売などを企画し運営しました。運営者からは、「中学生の力でまつりが明るく盛り上がった、頼もしくありがたい」と、参加した生徒は「お世話になっている地域の役に立ててうれしい」と話していました。

これまで、委員の皆様や地域の皆様のご理解とご協力をいただき、本校のシティズンシップ教育の一環である生徒による地域まつりボランティアを行うことができました。

【活動の様子】



11 輝龍祭（11／12）

輝龍祭を体育館で開催しました。午前は合唱コンクールで、龍ヶ崎中学校の音楽担当の先生に審査をお願いしました。1年生にとっては初体験。緊張しながらもはつらつと歌っていました。2年生は、女子のハーモニーが素晴らしく、男子は変声期で歌いづらい状況でも頑張っていました。3年生は、3年間の集大成ということで見事な合唱を披露し、皆を感動させました。

午後は、コミュニティスクール事業の一環として、地域のサークルとして活動している「二胡アンサンブル 紫音」をお招きして演奏していただきました。二胡の優雅な音色を楽しみました。即席で、吹奏楽の打楽器担当の生徒とのコラボもしました。吹奏楽部は、「Let 's Swing!!」などを演奏し会場を盛り上げ、有志発表では、ピアノ独奏、独唱、ダンスなど、1年生から3年生まで11グループが出場し、午後の部を盛り上げてくれました。生徒にとって、楽しい1日だったと思います。

なお、合唱コンクールでは、学区の小学6年生をお招きしました。中学生の合唱に感動し、中学校への入学が楽しみになったようです。

今年の輝龍祭は、地域との交流を入れたものにしようと、学区でサークル活動をしている団体の参加を委員に相談をしたところ仲介をしてくださいました。おかげで、スムーズに新しい企画を進めることができました。



合唱コンクール



吹奏楽部コンサート



ダンス



ピアノ演奏



二胡演奏



ドラム担当生徒（吹奏楽部）とのコラボ



委員の皆様